松本市　アルプス公園

# いきものふれあいの森通信

2026.09.23　第 22 号

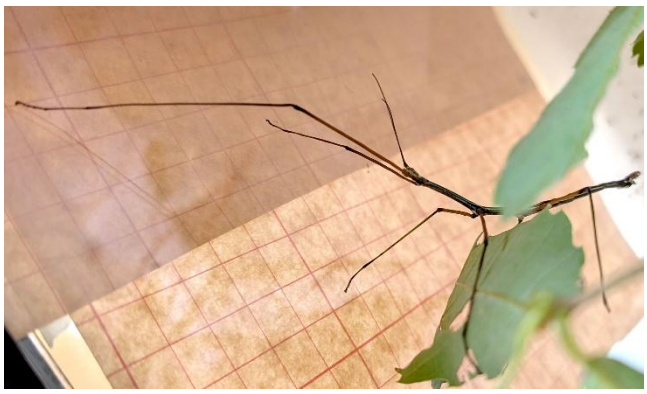


**○ ナナフシモドキのオス発見**

古民家体験学習施設にて、昨年より話題となった、細長い体の昆虫のナナフシモドキが、今年も多く見られました。８月１６日（日）に、来園者の男性がナナフシモドキのオスを発見し、山と自然博物館の入口にて展示され話題となりました。

ナナフシモドキは、メスだけで卵を産み、増えていく単為生殖の昆虫であり、オスは数千匹に一匹程度と言われています。

オスは、メスに比べ・細く小さい体・長い触角・腹端のふくらみ・体の側面に白い模様があります。



ナナフシは身の危険を感じると自分で足を切ることがあります。幼虫の時に切った足は脱皮の時に再生することができます。今回のオス（写真のオス）の右前足が短いのはそのためと思われます。しかし、成虫の時に切った足は再生できません。

ナナフシモドキは、最近のアルプス公園では、夏になると、多く見る事のできる昆虫です。興味を持って観察していただければと思います。

**○ 秋の七草**

９月に入り、公園内では、秋の草花を楽しむことができます。また、公園内の各所にて、秋の七草（女郎花（オミナエシ）・尾花（おばな・ススキ）・桔梗（キキョウ）・撫子（ナデシコ）・藤袴（フジバカマ）・葛（クズ）・萩（ハギ））もお楽しみいただけます。

花の丘の草原では、鮮やかな黄色の「オミナエシ」の群生をご覧いただけます。

澄み渡る秋空と穏やかに流れる雲が織りなす、この季節ならではの風景をお楽しみいただけます。



園内のあちこちで見頃を迎えている「ススキ」こちらの写真は、古民家体験学習施設の「三段畑」から見える景色です。



お月様とススキの風情ある風景が思い浮かぶ「中秋の名月」。今年の十五夜は９月 25 日ですが、実は「完全な満月」は２日後の９月 27 日となり、今回のように「2 日」もずれるのは比較的めずらしい現象のようです。夜空を見上げて秋の訪れを感じてみてはいかがでしょうか。

**○　『アサギマダラ』と『フジバカマ』**

公園内では、秋の七草の一つである「フジバカマ」の植栽を進めています。

現在は、山と自然博物館の前や、アルプスドリームコースター付近、古民家体験学習施設の三段畑などでご覧いただけます。



【写真：古民家体験学習施設の三段畑のフジバカマ】

今年の 9 月中旬頃からは、園内にて旅をする蝶「アサギマダラ」を観察することができました。



今後も、アサギマダラがたくさん集まる公園となるよう、より良い環境を整えてまいります。

**○ シカの食害・気を付けたい危険な生き物**



今年の三段畑のコスモスとヒマワリは、残念ながらシカの食害に遭ってしまいました。シカの影響を受けにくい樹種への変更や植栽配置を見直すなど、しっかりと対策を検討し、来年はたくさんの草花を楽しんでいただけるよう努めてまいります。

秋は、この時期特有の危険な生物や環境の変化に注意が必要です。特にスズメバチは、秋になると攻撃性が高まります。刺激を避けるため、黒い衣服は避け、白や淡色の服装を心がけましょう。また、草むらや落ち葉の中にはマダニや毛虫などが潜んでいます。草の多い場所へ行く際は、長袖・長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を減らすことが大切です。冬眠を前に活動が活発になる生き物が増える時期ですので、周囲に十分注意してお過ごしください。

**○ 園内のお知らせと秋の見どころ**

今月は例年に比べて雨の日が多く、安全のため一部のイベントや行事が中止となり楽しみにされていた皆様には、ご迷惑をおかけしました。



一方で、この長雨の影響により、森の入口休憩所前にある池には美しい「水鏡」が広がっています。

当面の間は、水面に映り込む幻想的な風景をお楽しみいただけます。

これからはさらに秋が深まり、紅葉が園内を鮮やかに彩る季節を迎えます。ぜひ晴れ間を見つけて、秋を探しながら公園内の散策をお楽しみください。

皆様のご来園を心よりお待ちしております。

## 伝 言 板

**「アルプス公園サポートクラブ」**

**場所：アルプス公園　花の丘**

**日時：9月 30日（水）**

**・10月7日（水）・10月21日（水）**

**午前8時 30 分～10 時 30 分**

**・集合場所　花の丘階段の下**

**（東駐車場の架け橋を渡った先）**

**お気軽にご参加下さい。**

発行元：(株)TOYBOX　アルプス公園サービスセンター
TEL：0263-34-5640
MAIL：info@toybox-net.jp